

「三木市自転車活用推進計画」(案)に対する  
意見書の概要及び意見に対する市の考え方(案)

資料 2

意見募集期間 令和3年2月3日(水)～令和3年3月5日(金) (31日間)  
意見者数 5人(14件)

番号	意見の概要	市の考え方(案)
計画全体の取組に対して		
1	<p>今後高齢化が急激に進む三木市において、この自転車活用推進計画が、健康寿命を伸ばし、幅広い世代が益々「ふるさと三木」の良さを実感し誇りを感じることに貢献できると思います。チーム三木で、多様な主体が、それぞれの持てる力を出し合い、この計画が、より実効性のあるものになることを願っています。</p>	<p>この計画の策定により、自転車通行空間の整備をはじめ、サイクルツーリズムや安全教育、健康増進への取組等を行政だけでなく関係団体や地域等と連携して推進することで、自転車を活用したより活気あるまちづくりを進めてまいります。</p>
2	<p>サイクリングを趣味にしている市民です。いつも道路の保守整備ありがとうございます。</p> <p>三木市内の道路、明石市や神戸市などの道路と比べ全般的に交通量が少ないため、ロードバイクで走りやすく、三木市内や近隣市町村の飲食店などを目的地に市内の道路を通行させていただいています。</p> <p>今後の整備についての提案です。</p> <p>交通量が多く歩道が片側だけの区間について(志染駅-広野ゴルフ場前駅間など)、自転車で車道を通行すると自動車の通行の妨げになり、自転車で歩道を通行すると歩行者や路面の状況に気を使い、車道・歩道どちらを通行しても走りにくい状況です。</p> <p>今後自転車通行帯を整備される際、道幅を広げて通行帯確保することは難しいと思われまます。</p> <p>幹線道路と並行して旧道の残っている路線については、自転車が旧道を通行するような誘導は難しいでしょうか?旧道を自転車が走りやすくすることで、観光での自転車の利用もしやすくなるかと思えます。</p>	<p>旧道への誘導については、観光名所等をまわるようなコース設定において、御意見を参考とさせていただきます。</p> <p>また、旧道を自転車が走りやすく整備することについては、旧道を含めた生活道路等において、必要な箇所の安全対策を検討してまいります。</p>

番号	意見の概要	市の考え方 (案)
第2章 三木市の自転車交通を取り巻く現状と課題 2.3 自転車関連事故の状況		
3	<p>○自転車関連事故の事故類型について P21(2)の円グラフで事故の状況が三木市のものではなく、兵庫県の円グラフで2020年3月のものが使われています。なぜ、三木市での自転車対車両の事故(230件の91.3%)に対応する状況のグラフではないのでしょうか。可能であれば、三木市のデータで示していただけると、より正確に事故の状況が分かると思います。</p>	<p>P21(2)の円グラフにつきましては、より正確に事故の状況が分かるよう、三木市におけるデータを集計し、計画に掲載します。</p>
4	<p>○自転車事故減少のための取組について 自転車事故減少に向けた安全意識の醸成は大切だと思いますが、事故が起きている場所には当事者同士の意識面だけでなく、それなりのハード面の原因もあると考えます。その改善に向けて、事故の状況分析や地域住民からの聞き取り等を活かして、事故を起こさない道路状況や環境を創造し、自転車事故を減少していくようお願いいたします。</p>	<p>自転車事故を減少させるため、市といたしましても、市民の安全意識の醸成を図るだけでなく、例えば自転車の左側通行などの走行ルールを促すようなハード整備に努めてまいります。</p>
第4章 取組施策 4.2 取組施策の概要 <b>【目標1】 通行環境「幅広い世代が自転車を安全・快適に利用できる自転車通行環境の整備」</b> 施策1 自転車通行空間の整備 ①自転車通行空間の整備推進 P36		
5	<p>P36の「幅広い世代が自転車を安全・快適に利用できる自転車通行環境の整備」は、順次、確実に実施していただきたいことのひとつです。そこで、自転車ネットワーク路線の整備事業計画に、ぜひ神戸電鉄新三木駅舎を起点として、三木城址や、城下町の旧街道を巡るコースや、三木市の中心を流れる美囊川リバーサイドパーク内を川の自然を感じながら走るネイチャーサイクリングコース、さらには、三木駅、三木上の丸駅、恵比須駅等、三木市内の神鉄粟生線の各駅を結ぶコース等も長期計画に加えていただくとありがたいと思います。</p>	<p>いただいた御意見に関して、市の中心市街地における自転車の活用につきましては、三木駅を起点としたレンタサイクル事業、市内外の人々が楽しめるサイクリングコースの設定等を検討してまいります。</p> <p>また、市内の観光施設等の各所をめぐるサイクリングコースの設定につきまして、P53に追記いたしました。</p>

番号	意見の概要	市の考え方(案)
6	<p>・市内のひょうご情報公園都市で、次の開発計画が検討されるようだが、現在、朝夕の通勤時間帯に周辺の道路が混雑している時がある。</p> <p>・本計画(案) P. 36の「自転車通行環境の整備」は、短期整備計画区間で実施を検討されているが、ひょうご情報公園都市周辺は対象から外れているのか。</p> <p>・最寄り駅や市内の通勤者が多い地域から、産業団地までの区間で、自転車通行環境の整備が進めば、自転車通勤も選択肢の一つになると思うので検討頂きたい。</p>	<p>P36に示す短期整備計画として定める路線は、「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」(国土交通省)に基づき選定しておりますが、現段階では、ひょうご情報公園都市周辺は対象に入っておりません。</p> <p>しかしながら、御意見のとおり今後、次期の開発計画の検討が予定されており、本計画においても社会情勢の変化等により必要な場合は見直しを行うとしております。</p> <p>このことから、次期開発計画に伴う新たなニーズの把握に加え、通勤を自動車から自転車への転換することによって健康増進及び環境負荷の低減、また交通状況の改善などの効果も見込まれることから、関係機関と連携しながら検討を進めてまいります。</p>
<p>第4章 取組施策 4.2 取組施策の概要</p> <p>【目標1】通行環境「幅広い世代が自転車を安全・快適に利用できる自転車通行環境の整備」</p> <p>施策3 駐輪場の適正配置及びレンタサイクルの実施</p> <p>②レンタサイクルの整備検討 P 4 3</p>		
7	<p>駅前のレンタルサイクルポートの設置に関して。電動自転車で、乗り捨てが出来るようなシステム(神戸市のコペリンのような)が望ましいと思います。</p>	<p>レンタサイクルにつきましては、三木駅を起点とし、自転車の種類、規模、料金体系など本市に合ったレンタサイクルの運用方法について、実証実験等を含めて長期的な視野のもと検討してまいります。</p>
<p>第4章 取組施策 4.2 取組施策の概要</p> <p>【目標2】安全・安心「自転車利用の安全意識の醸成」</p> <p>施策4 ライフステージに応じた交通安全教育の推進</p> <p>①交通安全教育の推進 P 4 4</p>		
8	<p>シニア対象の交通安全教育について 緑が丘地区をはじめ三木市内で、高齢者が電動自転車で買い物に出かけますが、事故や怪我の危険もあります。また、運転免許返納者が自転車に乗り換える場合もあります。これらの高齢者には、電動自転車の操作方法の習熟と交通ルールの徹底が必要です。そのために、自転車での交通安全が学べる機会を現在よりも増やしてはどうでしょうか。自転車はシニア世代の介護予防やひいては健康寿命の延伸にも役立つ可能性があると思います。</p>	<p>P 4 4①「交通安全教育の推進」に記載のとおり、高齢者を対象とした交通安全教育につきましては、自転車利用も含めた交通安全教室や啓発活動を、三木警察署、関係団体及び地域と連携しながら、進めてまいります。</p>

番号	意見の概要	市の考え方（案）
<p>第4章 取組施策 4.2 取組施策の概要            目標3「観光交流 観光資源を活かしたサイクルツーリズムの推進による交流機会の創出」            施策8「サイクリングルートの整備と走行環境の整備」            ②広域連携によるサイクリングコースの設定 P 5 2</p>		
9	<p>神出山田自転車道、加古川河川敷など、隣接する市にすでにある自転車道路とつなぐことで、効率的で広域な自転車道ネットワークができ、この北播磨全体にとっても良いと思います。また、湯の山街道を自転車道として整備することによって、歴史と文化を守りながら市を発展させることが出来るのではないかと思います。</p>	<p>P 5 2②「広域連携によるサイクリングコースの設定」に記載のとおり、隣接市域との連携による広域的なサイクリングルートの検討を進めてまいります。            また、湯の山街道におきましては、まずは歴史ある街並みを楽しめる立ち寄りポイントとして、自転車利用者の方々に発信できるように検討してまいります。</p>
10	<p>○新たなサイクリングコースについて            三木市内には自然豊かな広い公園がいくつもあり、市民の憩いの場となっています。これら公園と市内の観光名所を結ぶフットパス&amp;ポタリングコースの検討をしてはどうでしょうか。新と旧の三木をつなぎ三木の魅力を発信できれば、三木市内はもちろん、他市のサイクリストが興味を持ってくれる可能性があります。            ・緑が丘駅駐輪場（レンタサイクル拠点）→三木防災公園→志染の石室→伽耶院→三木三田線バイパス経由→森林公園→三木鉄道記念公園→別所ゆめ街道→別所ふるさと交流館</p>	<p>兵庫県北播磨県民局と連携し、ゆっくりまちを楽しむポタリングコースとして、吉川地区を中心に山田錦の田園風景や文化、歴史を楽しむコースを1つ、フットパスコースとして、志染地区の防災公園や志染の岩室をはじめ疎水遺跡をめぐるコースや、吉川地区の山田錦の郷周辺をめぐる2つのコースの設定を進めております。            いただいた御意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>第4章 取組施策 4.2 取組施策の概要            目標3「観光交流 観光資源を活かしたサイクルツーリズムの推進による交流機会の創出」            施策9「利用ニーズに応じた受入体制の環境整備」            ②公共交通機関との連携によるサイクリストの誘致 P 5 6</p>		
11	<p>公共交通機関との連携によるサイクリストの誘致は、6年間かけて検討するとの計画ですが、ぜひ前向きに、スピード感を持って推進していただきたいと思います。神戸電鉄新三木駅舎が完成し、春高春中ゴルフが開催されるようになるこの時期にこそ、新しい三木市の活性化に向けての取組の一つになると考えます。よろしく申し上げます。</p>	<p>P 5 6 施策②「公共交通機関との連携によるサイクリストの誘致」に記載のとおり、神戸電鉄粟生線活性化協議会や交通事業者と連携し、サイクリストの誘致を検討してまいります。</p>
12	<p>鉄道と自転車の連携を意識したものとして発展させていただきたい。市外からの観光客の集客にもつながりますし、SDGsとしても、必須なのではないかと思います</p>	

番号	意見の概要	市の考え方（案）
第4章 取組施策 4.2 取組施策の概要 目標3「観光交流 観光資源を活かしたサイクルツーリズムの推進による交流機会の創出」 施策10「サイクリストに向けたイベント開催及び情報発信による誘客」 ①自転車イベント開催による交流促進P57 ②多様なツールを用いた情報発信P58		
13	<p>（仮称）ツールド・ミキ、のような自転車競走イベントを計画してはどうかと思います。近年マラソン大会を開催することで多くの人々が参加する状況にあります。この現象の次の展開として自転車レースを全国に先駆けて取り組むことによって、自転車にやさしい町づくりを市内外にアピールでき、また、高校の総合体育大会なども誘致できるのではないのでしょうか。</p> <p>この自転車競技のコースに関して、三木と吉川を横断するようなコースを設定し、市街地と田園地帯の市民の交流にもなれば尚よいのではないかと思います。</p>	<p>P57施策①「自転車イベント開催による交流促進」に記載のとおり、市内の立ち寄りスポットや見どころなど観光資源を活用した三木の魅力を発信できるようなイベントを検討してまいります。</p>
14	<p>ITシステムを使うことによって、設備投資をせずに自転車道の魅力を上げられると思います。具体的には現代人ほとんどがスマートホンを持っており、スマホは位置情報を持っています。この位置情報を活用することで、観光名所を案内することやスタンプラリーのようなイベントを人件費もかけずに行う三木市独自の携帯アプリを開発してはどうかと思います。</p>	<p>P58施策②「多様なツールを用いた情報発信」に記載のとおり、サイクリストのニーズに応じた様々な手法を活用して情報発信して参りたいと考えております。</p> <p>御意見のありましたスマートフォンの位置情報の活用につきましては、山田錦の里ロングライドコースにおいて、県がGPSやグーグルマップと連動したルートデータが辿れるシステムを導入される予定ですので、その活用を促していきます。</p>